

## 勿凝学問 296

官僚を萎縮させる方法

江戸の敵は長崎で討つ、という脅しは効果覷面だろうな

2012年12月28日加筆

2010年4月4日

慶應義塾大学 商学部

教授 権丈善一

一昨日の朝、電話がかかってきた。寝ぼけていたので正確には覚えていないけど、なんだか、厚労省に出かけて高齢者医療制度について有識者として報告をするという仕事を丁重にお断りさせていただいた模様。

理由は山ほどにある。その一つを書き留めておこうと思う。

僕に見えているのは、氷山の一角なのだろうけど、いま、50代半ばで、突然首になって失業者になるという人が霞が関に出てきている。その様子が、僕には、江戸の敵を長崎で討つという話に見えてしまう。

### プロフィール I 江戸は社会保険庁運営部長

「独法、38ポストは民間から選出 長妻厚労相、社保庁OB拒否」

『朝日新聞』2010年3月31朝刊

.....

#### ●選考委決定に2度反対…厚労省枠「返上」

30日決定の独立行政法人の役員人事で、厚生労働省所管の理事ポストが削減された。有識者による選考委員会が2度にわたって同じ官僚OBに決めたが、長妻昭厚労相が覆した。不透明な天下り人事の排除を狙った公募だが、長妻氏による「人事介入」への疑問も出ている。

長妻氏が覆したのは、福祉医療機構の理事ポスト。学者4人をメンバーとする選考委は昨年12月、元社会保険庁幹部（56）を候補として決めたが、長妻氏が認めずに再公募となった。選考委は再検討の結果、今月になって同じ人物を提案したのに対し、長妻氏は異例の面接に踏み切ったうえで、起用を見送った。

任命権者は理事長で、理事ポストの削減理由は「任命権者と大臣が協議の上、適任者なしで空席」とされた。ただ、この元幹部は、長妻氏が野党時代に年金記録問題を追及した国会で答弁していたことから、「個人的な逆恨み」（関係者）との指摘もある。選考委の一人は「官僚OBがダメなら最初から明確にすべきだ。ルール変

更はおかしい」と不満を漏らしている。

## プロフィールⅡ 江戸は年金局長

グローブ33号<舞台裏を読み解く>

「長妻厚労相は何を目指すのか、官僚との消耗戦を超えて」

『朝日新聞』2010年2月1日朝刊

昨年12月31日、1人の官僚が長年務めた厚生労働省から去っていった。社会保険庁長官・渡辺芳樹（56）。定年まで4年を残しての退職だった。

退職に追い込まれたのは、渡辺が懲戒処分を受けた経験があるためだ。1月1日付で社会保険庁は解体され、日本年金機構となった。渡辺は、機構の初代の副理事長に就任すると目されていた。阻止したのは、厚生労働相の長妻昭（49）だった。

処分歴のある社保庁職員を年金機構に採用しないことは2008年7月、自民党の福田政権当時に決まっていた。ただ、この時点で想定されたのは、社保庁で年金記録をのぞき見したり、無許可で組合活動をしたりして処分を受けた職員。渡辺の処分歴は14年前、当時の厚生事務次官・岡光序治の汚職事件に絡む接待問題で受けた減給で、社保庁の不祥事と関係ない。

省内だけでなく、与野党の議員の中にも同情論は少なくなかった。だが、長妻の意思は固かった。

ちなみに、渡辺氏は、2004年から2009年まで年金局長であり、その5年間、長妻氏たちの年金政局作りに対峙していた。

政治家が言うこと・なす事をたしなめていたのでは、将来、狙い打ちをされて長崎で敵<sup>かたき</sup>を討たれる。50代半ばで霞が関をただ放り出されるだけの先輩たちの姿をみせつけられる現役の官僚で、萎縮しない者がいるとすれば、そっちの方がおかしいと思う。さすがに僕でも、現役官僚と同じ立場に置かれ、「個人的な逆恨み」とも受け止められるような先輩たちの首切りを目の当たりにすれば絶対に萎縮する。そういう空気がきっとあるだろう建物にはあんまり行きたくないんだよね。昔はあれだけ出入りしていたんだけど、その建物のトップが替われば少しは考えてみるかな（笑）。

なお、この話、官僚の首を切って路頭に迷わせるとは、さすが長妻大臣！と絶賛の声をあげる人の方が、この国では多数派であることは承知の上で書いている。

その後――

## プロフィールⅢ？ 江戸は雇用均等・児童家庭局長

子ども手当担当局長を降格＝幹部人事を内定―長妻厚労相

Jiji.com 2010年7月23日

長妻昭厚生労働相は22日、伊岐典子雇用均等・児童家庭局長を独立行政法人労働政策研究・研修機構に出向させ、後任に高井康行医薬食品局長を起用する幹部人事を内定した。伊岐氏は民主党マニフェスト（政権公約）の目玉施策である子ども手当の担当局長。長妻厚労相は同制度導入をめぐり、伊岐氏の対応に不満を持っていたとされる。

伊岐氏は研究職に就く予定。局長経験者の出向先としては異例で、事実上の左遷人事となる。

これは、趣の違う話。プロフィールⅡに登場の渡辺氏のその後。

渡辺・元社保庁長官、スウェーデン大使に

『朝日新聞』2010年8月21日朝刊

昨年末に厚生労働省を退職した渡辺芳樹・元社会保険庁長官（57）＝写真＝のスウェーデン大使就任が、20日の閣議で決まった。社会保険庁が解体された際に、天下りを原則認めない政府の方針で失業したが、民間枠で登用された。

渡辺氏は、日本年金機構の副理事長就任が有力視されたが、懲戒処分歴を理由に長妻昭厚労相が「例外を認めない」と起用を見送った。スウェーデンは高福祉で知られ、渡辺氏は年金局長の経験などを買われたとみられる。

閣議決定は全閣僚の署名が必要。長妻氏は20日の閣議後会見で「昨日聞いた。基本的には外務省の人事なので、淡々とサインした」と語った。

国民的に人気のあるらしい大臣さんは「昨日聞いた」らしいけど、まあ、一月以上前から、みんな知っていた話なんだけどな。

2012年12月28日加筆

大震災前日の2011年3月10日の文章

運用三号の問題で、どうして、「当時の私の判断としてはベスト」とコメントした前大臣が無罪放免で、政治家が決めたことに従うしか術がない課長が更迭なんだ？

政治家が判断ミス責任を問われた時に、現場の官僚を生け贄に差し出す力を持つことを政治主導っていうのか？

この処分の正当性を説明したい人がいれば、連絡くれ。

先日も、仕事依頼の連絡が来て、僕が現政権に批判的なことを言うと、「そういうことを大臣達の前で言ってもかまわない」と言われ、「僕は、彼らを大臣だとは認めていないんですよ。総理を始めね」と答えて仕事の依頼を断ったけど、これまで何度かきた仕事をすべて断っておいてよかったよ。今回の件があれば、万が一、僕が何かの仕事を引き受けていたとしても、やはり奴らにはどうしても協力したくないと言って辞めていたな。昨日書いた

勿凝学問 366 で、本当は「社会保障を利用しようとしている奴ら」と書きたかったところを遠慮して「例の政党」にしたけど、もう、そういう遠慮も必要ないだろう。特に、前厚労大臣は、人の上に立つ職業人たる政治家としてという以前に、人として難がありすぎる——今回のことに限らず。僕に出会った学生たちは、絶対にこうあってはならない。

- 勿凝学問 298 [官僚を萎縮させる方法——江戸の敵は長崎で討つ、という脅しは効果観面だろうな](#)

それとみんな、官僚の力を過大評価しすぎだ。選挙という、どんな人物でも先生に昇華させてしまう「神聖な儀式」を通過した人たちってのは、官僚を頭ごなしに怒鳴り付けることができるくらいに強いもんなんだよ。だから、その「神聖な儀式」が、あまりにも卑怯な手段で穢されてしまうとすれば、その人物は先生ではなくなることになる。そのあたりが、僕の「彼らを大臣だとは認めていないんですよ」発言と関係しているし、僕が以前から使っている選挙の正当性、統治の正統性という言葉と関係してくる。

当時、民主党を支持し、政権交代に歓喜した人たちは、とにかく、元気がない。でも、仕方がない。みなさんは、素人なんだから。専門情報を司る職業人が守るべき職業倫理を捨て去り、素人を確信犯的にダマそうとするデマゴグが出てくれば、そりゃあ、ダマされるさ——なにも、みなさんが悪いんじゃない。空手の有段者やプロボクサーが素人を殴ったからといって、殴られた方が責められないのと同じだ。とはいえ……

- [「この人民ありてこの政治あるなり」の今日的な意味合い](#) 『三色旗』749号

僕の中では、本論と関連する文章

勿凝学問 53 [国家公務員と新聞記者の仕事、どっちの方が高い報酬で報われるべきなんだろう？——人事院「民間企業の退職給付等の調査結果」はおもしろい](#)

勿凝学問 72 [「天下り」のほかに「回転ドア」という言葉も知っておこうか——学者は政治家よりはましな生き物なのかもしれない](#)

勿凝学問 73 [華麗なる一族によるこの国の改革——インセンティブスキームとしての社会構造の破壊](#)

勿凝学問 178 [度を超えた官僚叩きという小泉路線の一番の後継者は小沢民主党だろう——小泉氏引退表明の日](#)

勿凝学問 243 [ミネルヴァの梟と政策論——『官僚たちの夏』の「確実な政策なんかどこにあります……」](#)

勿凝学問 244 [この国をダメにする政策を官僚が提言すれば、世の中きつとうまくいくという話](#)